

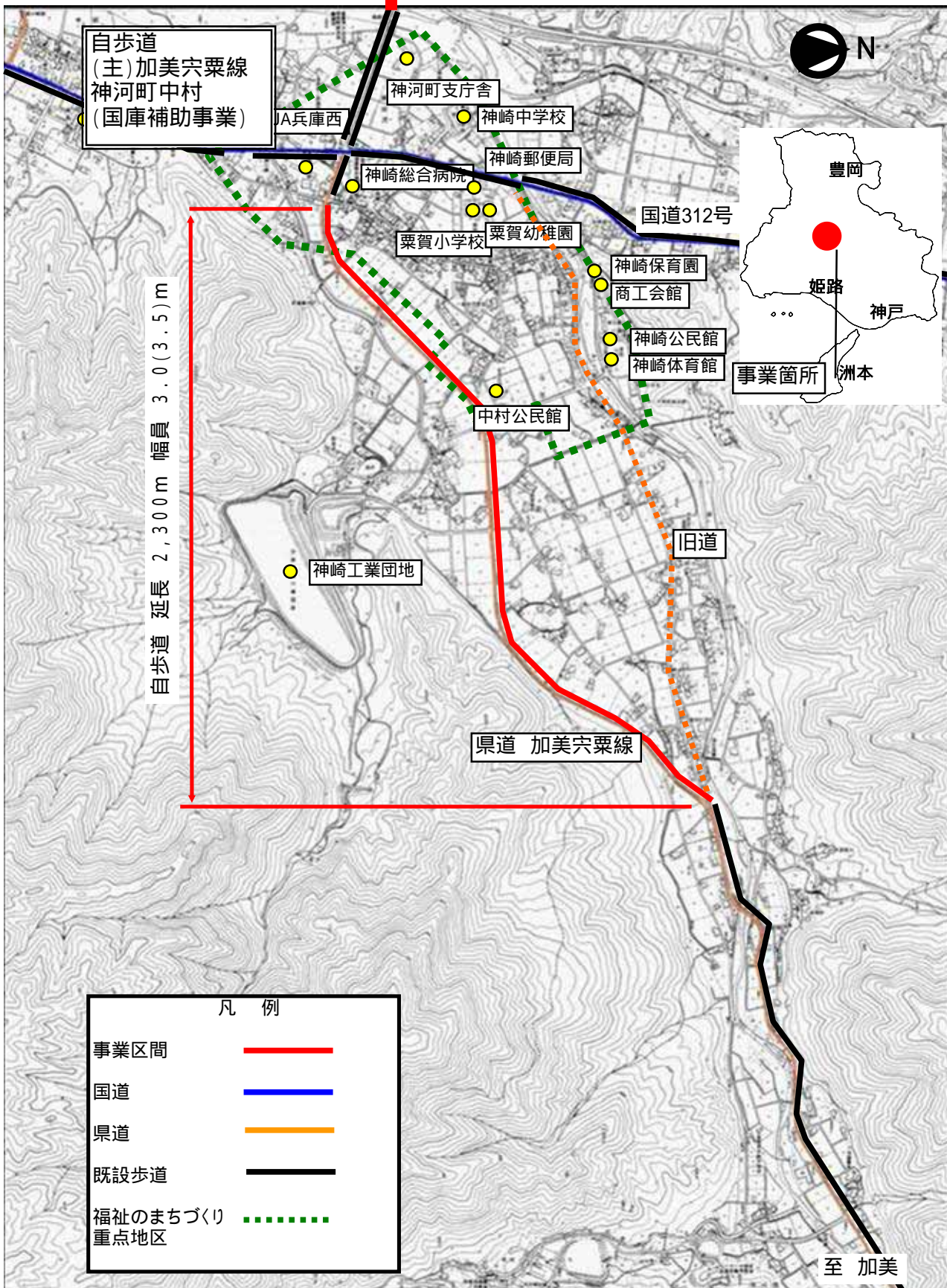
## 投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (中尾 兼人)	内線	4 3 8 9 ( 4 3 9 9 )
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約5.5億円 (内用地補償費約 1.8億円)
		特定交通安全施設等整備事業 (主)加美宍粟線	神崎郡神河町中村		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神崎郡神河町中村				平成20年度	平成23年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・福祉のまちづくり重点地区であり、交通弱者保護のため、当該道路空間を見直し歩道を設置するとともに、交通安全対策を推進する。			歩道整備(片側) L = 2,300m W = 3.0m (3.5) m 現況 歩道無し (負担金 国1/2 県1/2)		
<b>評価視点</b>					
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のまちづくり重点地区(粟賀地区)」内における事業で、沿道には神崎総合病院(約100m)、スーパー、ホームセンター等の商業施設もあることから多様な通行状況である。</li> <li>・市町合併により中学校の統合計画があり、通学路の見直しに合わせ現中学校で徒歩通学であった生徒が自転車通学になる予定であり、自転車歩行者道の整備が必要になる。</li> <li>・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車5,492台/日、歩行者 15人/日、自転車139台/日)</li> <li>・過去5年間に自転車、歩行者の交通事故(1件)が発生している。 死傷事故率(39.6人/億台km)</li> <li>・統合中学校の通学路にあたる隣接町道では歩道リニューアルにより歩道幅員の拡幅およびセパレート化を実施しており、面的に取り組む必要がある。</li> <li>・起点側、終点側の歩道は整備済みであり、当該区間のみが未整備。 (起点側:既設自歩道 W=4.0m, 終点側:既設歩道 W=2.5m)</li> </ul>				
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加による交通安全総点検実施地区内の事業であり、歩道の新設について意見があった。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。</li> <li>・円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水還元を図る。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道には人家・総合病院、商業施設があり、歩行者、自転車の安全な通行を確保するため、自転車歩行者道の整備を実施する必要がある。</li> <li>・平成23年度に神河中学校統合計画があり、事業完了後は当該県道が通学路指定になる。</li> </ul>				

概要図

神河統合中学校



自歩道  
(主)加美穴栗線  
神河町中村  
(国庫補助事業)

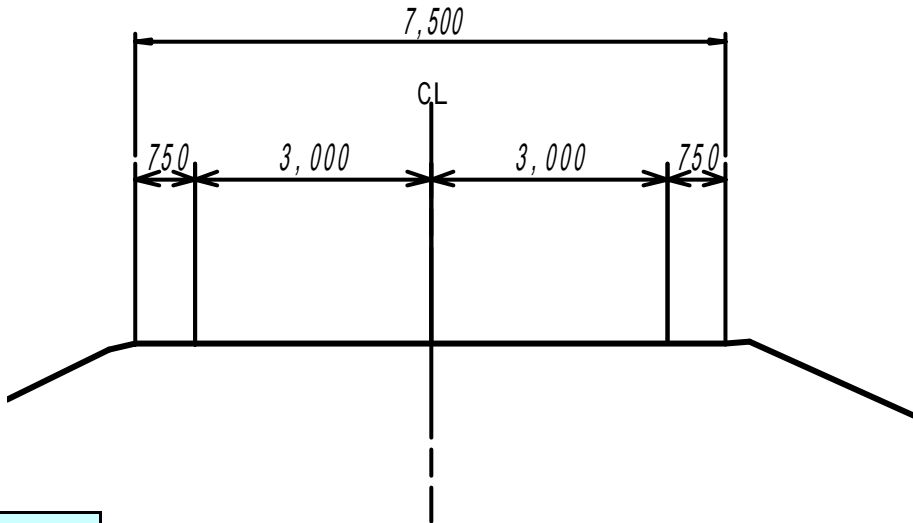
自歩道 延長 2,300m 幅員 3.0(3.5)m

凡 例	
事業区間	<span style="color: red;">—</span>
国道	<span style="color: blue;">—</span>
県道	<span style="color: orange;">—</span>
既設歩道	<span style="color: black;">—</span>
福祉のまちづくり 重点地区	<span style="color: green;">⋯</span>

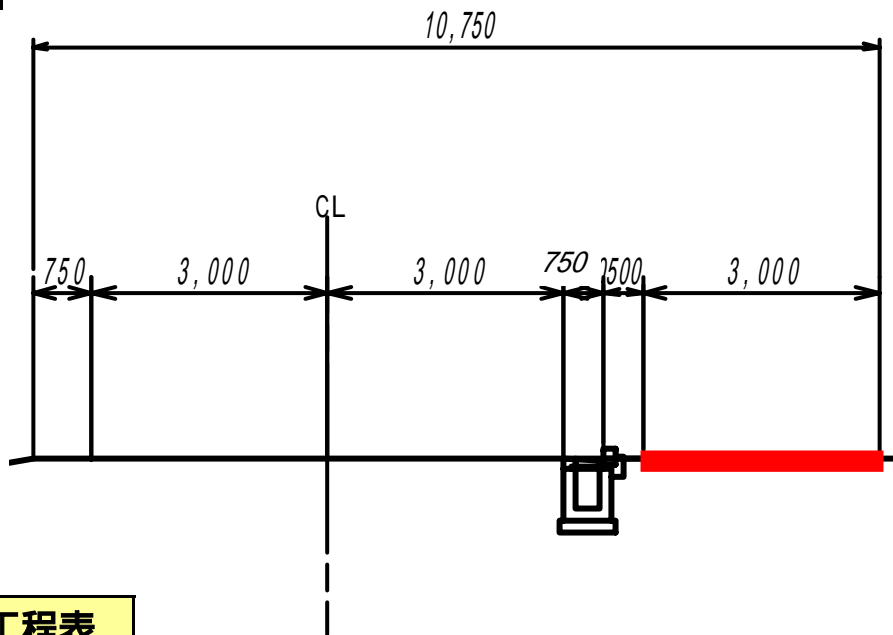
至 加美

**標準断面図**

**整備前**



**整備後**



**事業工程表**

内容	工 程			
	H20	H21	H22	H23
測試	■			
用地		■	■	
工事				■

# 通学状況写真

## 現況通学路(旧道)



# 現況写真(起終点部写真)

起点部



終点部

